

(臨床研究に関する公開情報)

長崎医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合やお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名] 大腿骨近位部骨折患者に行った早期離床介入後の ADL に関する実態調査
— 大腿骨地域連携パス患者の術前と術後 8 週の ADL 比較 —

[研究責任者] 看護部 6B 病棟 看護師 百武 未佳

[研究の背景]

大腿骨頸部骨折地域連携パスとは、大腿骨頸部骨折で当院（急性期病院）から回復期病院を経て、早期自宅退院を目標とした診療計画を作成し、治療を受ける医療機関で共有して用いています。内容としては、施設毎の診療内容と治療経過、最終ゴールなどを明示しています。大腿骨頸部・転子部骨折の多くは骨粗鬆症が原因で発生する骨折で、高齢者の方に多く発生することから寝たきりの原因になることが知られています。当院では、より効果的・効率的なリハビリテーションを提供することを目的に、平成 18 年より地域連携クリティカルパスを導入しており転院時、術後 8 週後に転院先の医療機関と日常生活動作や社会資源の活用状況などの情報共有を行っています。術後早期に積極的に離床を行った後の日常生活動作を比較した調査研究は少ないため、本パス適用患者さんの術後 8 週間後の日常生活動作、社会資源の実態調査を行うことで、入院中に必要な介入の示唆を得ることが可能になると考え本研究を実施することとしました。

[研究の目的]

大腿骨地域連携パス適用患者さんの術前、術後 8 週間後の ADL（日常生活動作）を調査し入院中に必要な看護介入の示唆を得ること。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

西暦年 2021 年 4 月 1 日から西暦 2022 年 10 月 31 日の間に長崎医療センター、整形外科にて大腿骨頸部骨折・大腿骨転子部骨折で手術を受けられた患者さん

●研究期間：倫理審査委員会承認日から西暦 2024 年 3 月 31 日

●利用するカルテ情報

1) カルテ情報：年齢、性別、病名、受傷日、入院日、手術日、術式、身長、体重、

受傷前所在、受傷前歩行能力、家屋環境、認知症、転帰先、介護サービス利用の有無、補助具使用の有無（屋内、屋外）、既往歴

ADL 状況：日常生活動作における床上安静、手を胸まで挙上できる、寝返り、起き上がり、座位保持、移乗、移動方法、口腔清潔、食事摂取、衣服の着脱、他社への意思の伝達、治療上の指示が通じる、危険行動。

●情報の管理

情報は、長崎医療センター内で集計、解析が行われ、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。この研究は、長崎医療センターのみで行われます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する個人情報は、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。また、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対照表を当院の研究責任者が作成し、診療情報との照合などの目的に使用します。対照表は、情報管理者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

ご自身の試料や情報を研究に使わないでほしいと希望されている方も、下記の連絡先までご連絡ください。なお、研究への使用の拒否の意思を表明されても、国立病院機構長崎医療センターにおける診療には全く何の影響もなく、いかなる意味においても不利益を被ることはありません。

[問い合わせ先]

国立病院機構長崎医療センター
看護部 6B病棟 看護師 百武 未佳
電話番号：0957-52-3121（代表）